

貧困や虐待が原因で
児童養護施設に暮らす子供たちの支援

みらいこども財団



子ども達が将来独り立ちできるように
遊びを通じて信頼関係をつくり
心のケアや教育の支援をしています

活動理念

貧困と機会差別をなくす

人々がやさしくなれる場を創造する

ひとりひとりの5%を
社会にシェアできる仕組みを作る

関わる人すべてが活動を通じて
幸せな人生を送る

児童養護施設とは
保護者のいない子どもや、虐待されて
いる児童など、社会的養護が必要な子
どもたちが入所している施設です。児
童養護施設の子どもたちは、一般家庭
の子どもと変わらず、人懐っこい子
どもたちばかりです。
一緒に楽しく遊んでください!



一般財団法人みらいこども財団
大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
オフィスポート内本町ビル1108

応募はこちら→



子どもと一緒に遊ぶこと
が好きな方

主に土日 施設を訪問して子どもたちと
一緒に遊びます。
(鬼ごっこ、サッカーなどの外遊びや、
折り紙、工作などのうち遊びなど)
勉強を教えることもあります。



自身を成長させたい方

財団には学生だけでなく、様々な
年齢や職業の方がいます。
ボランティア同士の関わりから学
ぶことも多いです。



リーダーシップを
身につけたい方

自主性を大事にしています。
財団の活動を理解いただければ
リーダーとして活躍いただくこ
ともできます。

活動上の 注意

- ※交通費などの活動に係る費用はボランティア個人の負担となります。
- ※ボランティア活動するには事前研修を受講していただきます。
- ※ボランティア保険に加入していただきます(年間500円)
- ※まずはホームページから説明会に参加してください。



活動内容

みらいこども財団は貧困や児童虐待で
児童養護施設で暮らす子どもたちを支援しています。

ツナガルプロジェクト（施設の子どもたちのサポート）

子どもたちに心のサポートを行う活動です。
オンラインや施設訪問で子どもたちと思いっきり遊んだり、
学習のサポートをします。
子どもたちと関わることで私たちも「今より優しくなれる」
そんな活動を何年も継続して行っています。

みらい基地プロジェクト（巣立った子どもの居場所作り）

施設を卒業した子どもたちには、帰る場所がありません。
困ったとき、寂しいとき、誰かと話したいときに子どもの
頃に遊んでもらった優しいお兄さんお姉さんがいる場所が
あれば、子どもたちはきっと心強く生きていけると私たち
は考えます。それが「みらい基地」です。

オンライン里親募集プロジェクト（進学から卒業までサポート）

児童養護施設から大学や専門学校に進学したいという
子どもが卒業するまでの数年間、一人の学生を複数の
大人がオンラインを通じて支援し、子どもの
成長を見守ることができる支援活動です。



ボランティアクルー募集

○施設訪問 ○プロボノ ○運営のお手伝い ○募金活動

★ボランティアクルーになるには まずはホームページ
からボランティア説明会にお申込み下さい！



サポーター募集

みらいこども財団をお金で支援してください。
ホームページからクレジットカード引き落としで
100円から支援ができます。
銀行振込や口座振替も行っております。

◆毎月1,000円のご支援

例えば絵本としてプレゼントすることで毎月訪問の
ボランティアクルーにより読み聞かせすることができます。

◆毎月5,000円のご支援

教育支援として週1回1時間、月に4回児童養護施設
で子どもの学習支援の為に使用できます。

※サポーター特典

メールマガジンにて活動報告、ボランティア、子ども
たちからのお礼のお手紙、ロゴマークの使用権など。

メインサポーター企業



私たちの活動理念

- ◆世界の「貧困」「機会差別」をなくす
- ◆人々が優しくなれる機会を創造する
- ◆誰もが自分の5%を社会にシェアできるしくみを作る
- ◆関わる人全てが幸せな人生をおくること



100円から寄付していただけます

◆ 貧困を無くす、機会差別を無くす

世界には貧困が原因で亡くなる5歳以下の子どもは、1日に1万6000人もいると言われています。生まれた国や環境で子どもたちの未来が左右されることのない世界を作りたい。虐待や施設で育った子どもたちは目に見えない差別で苦しんでいます。どれだけ育った環境が厳しくても、頑張りたい、夢を叶えたいという子どもたちにとって公平にチャンスのある社会をつくりたい。



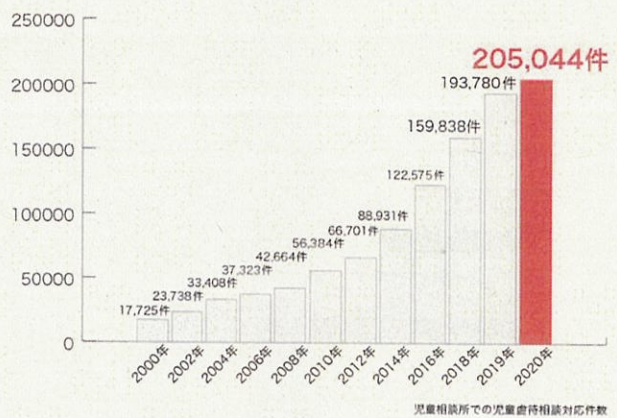
◆ 人々が優しくなれる機会を創造する

貧困がなくならないのは、周りの私たち自身にも原因はないでしょうか？ ボランティアとして参加した人が子どもたちの手をにぎることで、今より少し優しくなれる。そんな機会を作り続けることで、優しい人を増やすこと、優しい社会を次世代の子どもたちにつなげることを目指しています。

◆ 一人ひとりがたった5%の時間を社会にシェアするしくみを作ることで社会を変える

始まりはたった10人の会社が始めた、5%の時間を使った町の清掃活動です。それが10年後にはみらいこども財団として、多くの仲間が集い、今では全国の児童養護施設の子どもたちを笑顔にしています。

素晴らしい仲間と一緒に、人が優しくなれるような社会を作りましょう！



厚生労働省 令和2年度 児童相談所での児童虐待相談対応件数

貧困や虐待で苦しむ「子ども」たちへの支援

【心のケアを行います】

毎月200名以上のボランティアが何年も継続して児童養護施設に訪問して一緒に遊ぶということを通じて心のキズナを深めています。しっかりと人生を歩んでもらうために子どもたちから信頼されるのお兄さん、お姉さんになり、心のケアをすることが目的です。

【夢や希望を持てるような支援を】

経営者やボランティアが児童養護施設にて仕事の話や、自分の人生の出来事などを子どもたちにお話しています。身近な人だからできる、子どもたちに寄り添う支援です。

【子どもたちが本気でやりたいことを支援する教育支援】

心のキズナを作ることで心が前向きになった子どもたちは本気で夢を叶えたい、勉強したいと思ってくれるようになります。そんな子どもたちの本気を応援する支援を行っています。

【支援のゴール】

私たちが支援した子どもたちが社会に出て働き、幸せな家族を持ち、少し余裕が出たときに、自分と同じような子どもを見つけたときに、私たちがしたように支援をしてくれること、「恩送り」をしてくれることが支援のゴールです。

【日
ひと
す。
の職
は十
子ど

【虐
虐待
よう
社会
しか
ない
子ど
長続
結果
とに